

- 1 主題名 国際理解，国際貢献（内容項目番号 C-（18））  
（資料名「海と空 ー樞野の人々ー」 出典「私たちの道徳」）

2 主題設定の理由

（1）価値について

内容項目 C-（18）は「世界の中の日本人としての自覚を持ち，他国を尊重し，国際的な視野に立って，世界の平和と人類の発展に寄与すること。」をねらいとしている。国際化が進展しており，政治・経済・文化が変化し，科学技術が発展する中で，地球規模で世界平和と人類の進歩を図ることが求められている。自国のことのみに終始していたのでは，世界の国々との相互依存で成り立つ国際社会では生存できない。私たちが抱える環境や食料，平和などの国際的な諸問題は一国のみで解決できるものではない。国際的視野に立って他の国々や地域の情勢を理解し，それぞれの文化や伝統を踏まえて諸課題を共に解決しようとする努力することが大切である。そのためにも，日本人として自国の文化や伝統を理解し，尊重していくことが必要である。自分自身の足元にある日常生活に目を向けて日本人としての自覚を持ち，他国の人々や文化を尊重していくことから，国際的視野に立って，世界の平和と人類の発展に貢献する人間を育成していきたい。

中学生は学習を積み重ねる中で他国の人々や文化に対する理解が深まり，世界との関わりを意識する場面も増えている。また，我が国の伝統や文化に対する理解も進み，世界の人々や異文化への理解を深める気持ちを持っている。本市と交流の深いベルギーとの交換留学やフラワーマーチなどは，他国の伝統や文化を意識する機会となっている。本校の和楽器クラブの三味線演奏による白浜音頭などの房州民謡を歌い継ぐ活動や地域の祭礼などは我が国独自の伝統や文化を見つめる機会であり，国民としての誇りにつながるものである。

本学区は和歌山県串本町と同じ太平洋岸にあり，1907年に貨客船ダコタ号が座礁した時に白浜村を挙げて救助活動をしたことにより多額の礼金を贈られ，そのお金で小学校を建設して子弟の教育に役立てた。そこで，遭難したエルトゥールル号に乗っていた外国人を献身的に救出する話は身近に感じられ，同じ人間としてどう生きるかを考えさせることができる資料である。

以上のことから，自分たちの足元を見つめ，日本及び郷土の人々の献身的な思いを理解した上で，他国を尊重し，国際的視野に立って，世界の平和と人類の発展に貢献できる人間を育成することを目指して本主題を設定した。

（2）生徒の実態について（22人）

中学2年生としての自覚を持ち，生徒会活動や部活動に積極的に取り組めるようになっている。道徳の授業に真剣に取り組み，学習態度も向上している。発表内容も友達の意見を受けて自分の考えを述べて学習内容に厚みが出てきている。プリントへの記述も増えており，考える内容にも多様性が出てきている。

事前に行った調査の結果は以下のとおりである。

- ① トルコ，イラン，イラクについて知っていることを書いてください。

トルコアイス（9人），名前は知っている（6人），知らない（5人），ケバブ（3人）等

- ② 「場面調査1」海外旅行をしているとテロが起きました。帰国のために空港に行く多くの人でごった返して、飛行機には乗れそうにありません。ところが、その国の政府が日本人向けに成田空港行きの飛行機を特別に出してくれました。あなたはどんな気持ちになりますか。

うれしい（13人）、感謝、申し訳ない（各4人）等

- ・それはなぜですか。

帰れるから、飛行機を出してくれたから（各5人）、助けてくれたから（3人）、自分たちだけが飛行機に乗れるから（2人）等

- ③ 「場面調査2」台風による暴風雨が吹き荒れる中で、野島崎灯台沖を通る外国船が遭難しました。海から次々にかつぎ出される外国の人々がいます。あなたはどうしますか。

助ける（9人）、食事をあげる、豚汁をつくる、無視する（各2人）等

- ・なぜそうするのですか。

死んだら困るから（3人）、死んでしまうから、かわいそうだから、関係ないから（各2人）等

- ④ 「場面調査3」嵐が続いており、家の中にあまり食料の買い置きがありません。遭難した外国の人々のために食料を持ち寄って炊き出しをすることになりました。あなたはどうしますか。

食料を作る、分け合う（各5人）、頑張る（4人）、手伝う、少しだけ持っていく（各2人）等

- ・なぜそうするのですか。

助けたいから（5人）、困っているから（4人）、かわいそうだから、死んでしまうから、あまりないから（各2人）等

トルコと日本との関係については知らない生徒が多い。場面調査ではテロの際に日本人向けの飛行機を出してくれた時に、うれしく（13人）感じたり、感謝（2人）の気持ちを持つものが多く、理由として帰れること（5人）や飛行機を特別に出してくれたこと（5人）、助かること（3人）を挙げている。ただ自分だけが帰れることを申し訳なく（2人）思ったり、切なく感じる生徒もいる。外国船が遭難した時にかつぎ出された外国人を助ける（9人）、食事をあげる（2人）生徒が多いが、関係ないなどの理由から無視（2人）したりして助ける気持ちのない生徒（8人）もいる。自分の食料が乏しい中でも、遭難した外国の人々が困っているから（4人）助けたい（5人）と考えて、食料を作り、分け合ったりする（各5人）生徒が多い。

事前調査の中では現実感を持って考えられない生徒が多かった。実際に過去に白浜でも外国船の座礁が起こったことがあり、村を挙げて乗客乗員全員を救助している。郷土の歴史に触れながら、国際的な視野から自分の生活を見直し、世界の中の日本人としての視点を持たせ、人類の発展に尽くそうとする態度を育てていきたい。

### （3）資料について

1985年、イラン・イラク戦争のさなか、トルコ政府が日本人救援のために飛行機を手配し、危機一髪で日本人は脱出できた。この時テヘラン空港から脱出した主人公は1890年のエルトゥールル号遭難の際、和歌山県串本の向かいの大島東部にある檜野の人々が献身的な救護を行ったことへ感謝の気持ちをトルコの人々が100年以上も持ち続けていることを知る。檜野の人々は危険にさらされたトルコの人々を夢中で助け、ありったけの食料で料理をふるまい、負傷者の回復に心を尽くした。その国際的規模の相互扶助が語り継がれ、今もトルコの人々の中に親日感情が生きている。主人公を助けた「救いの翼」につながるエルトゥールル号乗組員の救助は、国際的視

野に立った世界の平和と人類の恒久の幸福に貢献することの尊さを捉えることができ、国際社会に生きる日本人を育てるのにふさわしい資料である。

### 3 ねらい

「救いの翼」によって助けられた主人公がエルトゥール号の顛末を知った時の気持ちを通して、世界の中の日本人として、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に寄与しようとする態度を育てる。

### 4 展開

学習活動と主たる発問	予想される生徒の反応	時配	支援の手立て・留意点
<p>1 トルコについて知っていることを話し合い、資料に入る雰囲気をつくる。</p> <p>① トルコやイラン・イラクがどこにあるか知っていますか。</p> <p>② イラン・イラク戦争や現在のイスラム圏内で起きているテロについてどんなことを知っていますか。</p> <p>2 資料『海と空 ー檜野の人々ー』を読み、主人公の気持ちを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図で国の位置を確認する。</li> <li>・イスラム教の宗派对立等によって戦乱が起きている。</li> <li>・内戦やテロが起こり、避難する人がいる。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図でトルコやイラン・イラクを確認する。</li> <li>・テロ事件など最近のニュースとの関連から海外で緊迫した情勢に置かれた時のことについて考える。</li> <li>・資料『海と空 ー檜野の人々ー』を読み、主人公である「私」の気持ちを考えていくことを説明する。</li> </ul>
<p>イランから脱出することができた「私」の気持ちを通して、現代の国際社会でどのように生きていくことが大切かを考えよう。</p>			
<p>① イラン・イラク戦争のさなかトルコ政府が日本人救援のために飛行機を出してくれ、無事脱出できた時、「私」はどんな気持ちだっただろうか。</p> <p>② エルトゥール号が遭難した時に檜野の人々がしたことを知って、「私」はどんな気持ちだっただろうか。理由を入れて、プリントに書きましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本に帰れてうれしい。</li> <li>・命が助かって良かった。</li> <li>・日本人を助けてくれて感謝の気持ち。</li> <li>・トルコ政府は親切だ。</li> <li>・自国民優先の国が多いのに、トルコ政府はすごい。</li> <li>・なぜトルコ政府が助けてくれたか不思議だ。</li> <li>・夜中の暴風雨の中トルコ人を助けたのはすごい。</li> <li>・疲れて、体が冷えているトルコの人を看護するのは大変だっただろう。</li> <li>・食料がない中、トルコの人たちのために料理を作</li> </ul>	<p>8</p> <p>1 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊迫した状況で自国民の救出さえ大変な中で、トルコ政府が飛行機を出して日本人を救援してくれたことは、日本人にとって有り難い行為だったことをつかませる。</li> <li>・プリント</li> <li>・夜遅い時間に暴風の中で傷ついた遭難者であるトルコの人々を精一杯看護し、村にあるだけのご馳走をふるまった檜野の人々</li> </ul>

<p>③ トルコ記念館を出た「私」は百年以上前から生き続けているトルコの人々との交流についてどんなことを考えただろうか。</p>	<p>るなんて信じられない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の人のためにここまで尽くしたのは立派だ。</li> <li>・日本人に対してさえできるかどうかわからないのにトルコの人のためにしているのはすごい。</li> <li>・百年以上も前のエルトゥール号遭難のことをトルコの人々は忘れず日本に好意を持っていることがすごい。</li> <li>・日本人はエルトゥール号のことをあまり知らないが、トルコの人々は今も感謝の気持ちを持っている。</li> <li>・エルトゥール号のことと同様に日本人は「救いの翼」のことを語り継ぐことが大切だ。</li> <li>・樫野の人々のように、同じ人間として外国の人を考えていくことが必要だ。</li> </ul>	<p>10</p>	<p>の献身的な行為をつかみ取れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遭難した人を同じ人間として献身的に助けたことに着目する。</li> <li>・百年以上前のエルトゥール号のことをトルコの人々が忘れず、「救いの翼」を出してくれたことから、同じ人間として世界で生きていくことについて考えられるようにする。</li> </ul>
<p>3 1907年に白浜村でアメリカの貨客船ダコタ号が遭難し村を挙げて救助活動をしたこと、たくさんの札金を小学校建設に役立てたことを紹介する。</p> <p>今日の学習と110年前の白浜で起こったことを踏まえて、世界の中の日本人として、国際社会でどのように生きていったらよいかを考え、プリントにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白浜の人々がアメリカの人を救ったように危険な中でも、同じ人間として外国の人を助ける気持ちが大切だ。</li> <li>・困っていたら国籍にかかわらず助け合う関係を築いていきたい。</li> <li>・世界平和のためには、外国の人のことを考えて行動することが大切だ。</li> <li>・国際社会でどの国の人とも幸せに暮らせるように行動したい。</li> </ul>	<p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> </ul> <p>◇白浜村の救助活動を踏まえ、日本人としての自覚を持って、他の国々の人々を大切に、広い視野に立って、外国の人々と交流を重ね、世界の平和と人類の幸福を追求していく気持ちを表現できたか。</p>
<p>4 自己評価の欄を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業の取組について記入する。</li> </ul>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5段階で自己評価し、理由を記入する。</li> </ul>